

平成26年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	山岸和幸
	全体計画						経費区分		-		内線	3115
事務事業名	4038 職員厚生事業											
所 属	050100 総務部・総務課											
施 策	07024600 市民と共に歩む、信頼され活気ある組織・体制づくり											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	020108 総務費・総務管理費・職員厚生費										
	事業	010000 職員厚生事業										
事業目的						事業概要・効果						
職員の健康管理と福利厚生の充実を図る。						職員の健康診断・各種検診・人間ドックの委託等を行い、疾病の早期発見と予防に努めるとともに外部産業カウンセラー、保健師などの専門スタッフの健康相談などを行うことにより、職員の健康増進を図る。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
①予防接種(破傷風・B型肝炎) ②職員の健康診断(定期健診・各種検診・人間ドック) ③職員の健康相談 ④職員の心の健康管理 ⑤職員の作業着等の購入	①予防接種(破傷風・B型肝炎) ②職員の健康診断(定期健診・各種検診・人間ドック) ③職員の健康相談 ④職員の心の健康管理 ⑤職員の作業着等の購入
平成24年度 実績	平成25年度 実績
①予防接種(破傷風・B型肝炎) ②職員の健康診断(定期健診・各種検診・人間ドック) ③職員の健康相談 ④職員の心の健康管理 ⑤職員の作業着等の購入	①予防接種(破傷風・B型肝炎) ②職員の健康診断(定期健診・各種検診・人間ドック) ③職員の健康相談 ④職員の心の健康管理 ⑤職員の作業着等の購入
平成26年度 予定	平成27年度 予定
①予防接種(破傷風・B型肝炎) ②職員の健康診断(定期健診・各種検診・人間ドック) ③職員の健康相談 ④職員の心の健康管理 ⑤職員の作業着等の購入	①予防接種(破傷風・B型肝炎) ②職員の健康診断(定期健診・各種検診・人間ドック) ③職員の健康相談 ④職員の心の健康管理 ⑤職員の作業着等の購入

指標名	各種ガン検診の精密検査受診率				
算式	精検対象者÷精検受診者				単位 %
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績	64.3	77.8	65.2	80
指標選定の理由	精密検査受診率の向上により職員の疾病等の早期発見につながるため				
最終年度目標の根拠	精検となった職員の受診率を100%とし、重大な疾病を防ぐため				
指標名					
算式					単位
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成25年度 決 算	平成26年度 予 算
事業費		11,821	13,580
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	365	823
一般財源		11,456	12,757
人員数(人)	正規職員	1.0	1.0
	嘱託職員	1.0	1.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	6,858.0	6,858.0
	嘱託職員	2,725.0	2,725.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	9,583.0	9,583.0
市民一人当たりの経費		0.4	0.4
総額		21,404.0	23,163.0

(単位：千円)

平成25年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	676	健康相談等謝礼
11節 需用費	655	作業着等購入
13節 委託費	9,173	健康診断、各種検診、人間ドック委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	211	特定健診事業主負担
その他	1,106	

(単位：千円)

平成26年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	762	健康相談等謝礼
11節 需用費	1,150	作業着等購入
13節 委託費	10,300	健康診断、各種検診、人間ドック委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	240	特定健診事業主負担
その他	1,128	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 市民サービスの向上には直接的には関係ないが、職員の福利厚生充実のため必要な事業である。 職員の定期健康診断は、労働安全衛生法で事業主の実施が義務づけられている。 	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 職員の疾病の早期発見と予防に有効である。 健診により精検となった職員の受診率の向上を図っているが、対象職員への呼びかけなど改善の余地がある。 	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 各種検診、人間ドックの委託など対象職員の範囲など他市の福利厚生事業と比較したい。 	

振り返り（決算年度の取組み課題）

- ・職員の健康診断、各種検診、人間ドックの委託などが主な事業であるが、職員の健康増進のため、果たしている役割は大きい。
- ・メンタルヘルス不全になる職員が増えてきているため、早期発見につなげるための更なる体制づくり、職員のメンタルヘルスへの理解が更に必要と考えている。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）	次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>人間ドックにより精密検査となった職員の経過状況をチェックする体制（職員へのフォローアップ）が必要。</p>		<p>事故防止の面から「一声かける」など安全運転管理に更に務めてほしい。また、公用車の有効利用のため、車両の稼働時間が確実に分かる仕組み（車両の鍵の返却が施設予約システムと連動すること）が必要である。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性
外部評価コメント